

超短工期特別対応プロジェクト発足のお知らせ

2024 年 4 月 1 日
超短工期特別対応プロジェクト

神鋼鋼板加工株式会社では、お客様満足度向上のため、全社横断的な「**超短工期特別対応プロジェクト**」を発足いたしました。このプロジェクトは、営業、CAD、製造部門が一丸となり、お客様からの超短納期材のご要望に迅速に対応することを目的としています。

1. プロジェクト発足の背景

近年、製造業界では納期短縮のニーズが高まっており、特に厚板シャーリング業界においては迅速な対応が求められています。

神鋼鋼板加工株式会社は、これらの短納期ニーズに応えるべく、従来の業務プロセスを見直し、効率化を図ることとお客様の期待に応える体制を構築中です。

2. 具体的な取り組み

このプロジェクトでは、以下の施策を実施していきます。

(1)受注処理と CAD 業務の並行実施化：

従来の受注処理後に CAD を行うプロセスを見直し、同時進行で業務を進めることで工期を短縮します。これにより、受注から製造開始までの時間を短縮し、迅速な対応が可能となります。

(2)RPA による手書きマーカーの自動彩色化：

手書きのマーカー等を RPA 技術を駆使してデジタル化し、効率化を図ります。これにより、手書き作業の時間を削減し、正確なデータ管理も可能となります。

(3)工程の見える化と迅速な指示命令：

各工程が見える化し、指示命令を迅速に行うことで無駄を省きます。これにより、各部門間の連携が強化され、スムーズな業務進行が実現します。

(4)RFID とカラーコードによる切断原板の所在管理：

工場内で RFID とカラーコードを用いて切断原板の所在を明確にし、管理を徹底します。これにより、材料の追跡が容易になり、在庫管理の効率化が図れます。

(5)切断能力の向上：

ファイバーレーザー切断機導入や NC 切断機増設を行い、切断能力をアップします。これにより、建築一般材、橋梁材の複雑な形状の切断が可能となります。また、製品の品質向上にも期待できます。

(6)出荷効率化：

出荷トラックに GPS を導入し、出荷の効率化を図ります。これにより、配送状況のリアルタイム追跡が可能となり、お客様への納期遵守が確実になります。

3. 今後の展望

神鋼鋼板加工株式会社は、これらの取り組みを確実に実行し、お客様の超短納期要望に迅速かつ確実に対応してまいります。さらに、今後も技術革新を続け、業務プロセスの改善を図ることで、より高品質なサービスを提供してまいります。

お客様のご期待に応えるべく、社員一同全力を尽くしてまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

以上